



2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 CEO 車谷 暢昭
(コード番号：6502 東、名)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
石山 一可
Tel 03-3457-2100

東芝デバイス&ストレージ株式会社における構造改革に伴う
早期退職優遇制度の実施結果等について

2020年9月29日付「当社システムLSI事業の構造改革の実施について」にて公表いたしました当社子会社の東芝デバイス&ストレージ株式会社（以下、TDSC）における構造改革に伴う早期退職優遇制度の実施結果、および並行して進めている人員再配置の見込みにつきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 早期退職優遇制度の概要

- (1) 対象部門： TDSC 半導体事業部におけるシステムデバイス事業統括部・スタッフ部門・営業部門、TDSC 共通スタッフ、研究開発部門の一部、及び一部子会社
- (2) 対象者： 上記在籍者のうち対象部門毎に定める年齢等の条件を満たす者
- (3) 募集人員： 約 770 人（人員再配置と早期退職優遇制度をあわせた総数として）
- (4) 募集期間： 2020年12月8日～2021年2月5日
- (5) 退職日： 原則として2021年2月28日
- (6) 優遇措置： 通常の退職金に特別加算金を加算して支給し、希望者に対し、再就職支援を行う。

2. 実施結果

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 早期退職制度応募人員数： | 452人（上記制度への応募者に加え海外退職予定者を含む） |
| 人員再配置等 | 372人（2021年4月1日付までの異動を含む見込み人数） |
| 合計 | 824人 |

3. 今後の見通し

早期退職優遇制度実施に伴い発生する費用は約 80 億円となる見込みであり、2020 年度第 3 四半期において 34 億円計上済みであり、第 4 四半期において 46 億円計上する予定です。なお、本件の影響につきましては、本日付「2021 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔米国基準〕(連結)」にて公表しております 2020 年度連結業績見通しに織込み済みです。

上述の人員対策を含めた今般の構造改革により、2021 年度には、当初見込みの 150 億円以上の固定費削減効果(連結税引前損益ベース)が見込まれます。

以上